

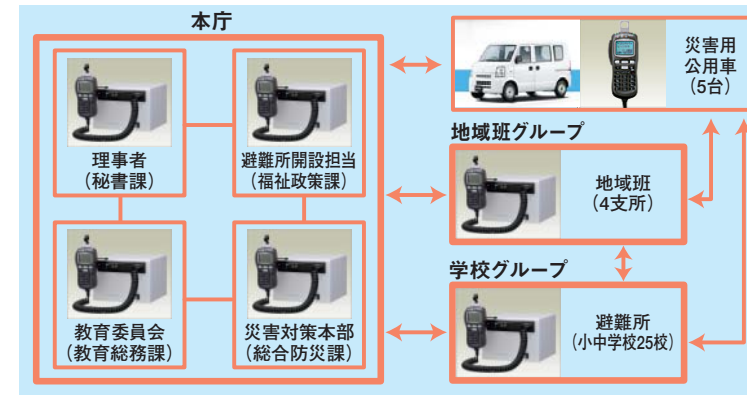
# 「鎌倉市 防災安全部 総合防災課」様

●所在地／神奈川県鎌倉市御成町18-10 ●TEL／0467-23-3000  
●mcAccess使用状況／mcAccess e (2008年3月導入・38台利用) ●取材日／平成21年2月19日

## 武家の古都・鎌倉 災害から歴史的遺産を守り 近隣地域市町との連携を図る

合同津波対策訓練などの情報伝達手段に採用。

■防災用デジタルMCA無線配備イメージ図



平成20年度の総合防災訓練で報告を受ける石渡徳一市長。消防や警察、自衛隊など21団体と市民、合わせて約800人が参加しました。



総合防災課に置かれている固定機。「操作が簡単なので、誰でも使えます」(安全安心推進課 池田八千代さん)

### 天然の要塞に囲まれた文化のまち鎌倉市

鎌倉市は、丘陵地域と沖積低地が複雑に入り組み、谷戸という地形に見られるように起伏が著しく、急傾斜地が多いのが特徴的な地域です。そのため地震や台風が起きた時には、がけ崩れの被害が頻発しています。

「近年は少なくなりましたが、昔は津波の被害も多かったそうです。人命はもちろん、旧所名跡が多い土地なので、歴史的遺産のためにも防災には力を入れています」と鎌倉市防災安全部 総合防災課課長補佐の長崎聡之さんは話します。

### 避難所となる小中学校に無線機を導入し通信体制を強化

導入以前の災害発生時における情報伝達手段は、固定電話、携帯電話、衛星携帯電話、電子メールがあり、災害の状況によっては電話回線の寸断や携帯基地局の倒壊等により通信手段が確保できなくなる恐れがありました。

特に、避難所となる小中学校には体育館に特設公衆電話の回線を配置してはいるものの、いざというときの通信体制は十分とはいえないものでした。そこで、通信体制の強化を図るため、平成20年にmcAccess eを導入。現在、鎌倉市本庁の各課と支所、学校へ38局設置しています。

### 庁用車から市長による緊急指示が可能

大規模災害が発生した場合、市長からの指示を災害対策本部の事務局である総合防災課が受け、全課に伝達します。

また、緊急時には市長自ら一斉送信する場合も想定しており、庁用車にも車載機を導入しました。もし市長が外出していても、車から緊急の指示を出すことが可能です。



鎌倉市防災安全部総合防災課の長崎聡之さん。

### 初期導入コストの大幅な削減と信頼性、利便性が導入のポイント

mcAccess e はリースの利用ができるため予算が計画的に組みやすく、買い取りの衛星携帯電話に比べて初期導入コストが大幅に抑えられるのが大きなポイントでした。「何より価格面の安さに驚きました。総合的に評価した結果、過去の大規模災害時でも安定した通信が確保できた実績があり、多くの企業や地方公共団体で採用されている点が導入の決め手となりました。災害時に確実に効果を発揮できる信頼性があります」(長崎さん)。

さらに風水害など、天候が悪い時に聞き取りにくい衛星電話に比べて、「mcAccess eは感度がよく音声もクリアでした。無線に慣れていない

人でも、ボタンを押せばすぐに操作できるという、使いやすさもポイントです」(同課 郷原一己さん)。

### 近隣地域市町との連携が重要な課題

鎌倉市では、災害時に備え県及び近隣自治体並びに関係機関と密接な連携を図っています。特に、海岸線を抱える鎌倉市は他の沿岸自治体同様に津波対策が重要な課題の一つとなっており、1年おきに津波対策訓練と地震対策訓練を実施しています。

平成19年度には神奈川県及び横須賀市から湯河原町までの相模湾沿岸8市6町合同の津波対策訓練が実施されました。

mcAccess e を利用した情報伝達訓練では、各自治体の担当者が実際に無線機を使用することにより、充実したものとなりました。

### 普段からの使用を積極的に呼びかけ

「無線導入後、幸いにして大きな災害に見舞われてはいませんが、いざという時に操作できないと大変ですから」(長崎さん)と、普段からmcAccess eを使うように心がけている総合防災課では、支所と月1回の定期的な通信

訓練を行っています。

また台風による避難所の開設時や

土砂災害警戒情報の発表時など、風水害時の対応に役立っているほか、平常時においても、光化学スモッグ注意報の発令情報などを第一報として教育委員会から各学校へ一斉送信しました。

鎌倉市では昨年の猛暑で数回発令がありました。従来の電話・ファックスによる伝達と比べて、大幅な時間短縮が可能になりました。市内を巡回中がけ崩れを発見した場合にも、グループ通信で状況を報告。「運転しながらも操作できる点は、災害対応車両に搭載しているメリットです」(郷原さん)。

今後は課を超えたネットワークでさらなる有効活用を図ることや、他の自治体とmcAccess eによる体制を常時構築することを目指していきたいとのこと。鎌倉市のmcAccess eによる強固な防災対策に期待がかかります。



平成19年度相模湾沿岸津波対策訓練会場全体図。8市6町13会場で行われました。

### POINT

- 衛星携帯電話に比べ、安価に導入可能
- 感度がよく、音声がクリアー
- 災害時に確実に機能した実績と信頼感



市長車も含め車載機は計5台稼働しています。「ボタンひとつで操作ができて便利です」(防災安全部総合防災課 鈴木直規さん)